

ホウボウ

【見られた地点：④】

水深約 600m 以浅の砂泥底に生息し、甲殻類やゴカイ類を捕食します。四角い頭部は固く、体色は赤褐色をしています。胸鰭は大きく、胸鰭の下に鰭の一部がひげ状に3本伸びています。東京湾全域で出現記録がありますが、湾奥ではあまりみられません。



マゴチ

【見られた地点：②・③】

肉食性で小型の魚類、エビ・カニ類、イカ・タコ類などを捕食します。性転換を行い、全長 35 cm までは雄ですが、全長 40 cm ではすべて雌になるといわれています。内湾、河口付近などの水深 30m 以浅の砂泥底に生息します。



クロダイ

【見られた地点：①・②・④】

沿岸の岩礁域だけでなく、内湾の藻場や砂泥底、河口域など様々な場所に生息しています。雑食性で、小型甲殻類やゴカイ類、貝類、藻類などを食べます。性転換をする魚としても知られています。産卵期は春から夏で、稚魚が沿岸の浅場で見られます。



アイナメ

【見られた地点：①・②・③・④】

底生性で沿岸の岩礁域や砂利底に生息しています。甲殻類、ゴカイ類、小型魚類などを食べます。産卵期は冬で、東京湾では岩礁や港湾の転石や橋脚などで産卵が確認されています。



イソギンポ科

【見られた地点：①・④】

体は平たく、鱗がありません。一般に体長 10cm 前後の種が多く、汽水や淡水域に入る種類もあります。貝殻や石の隙間に隠れ、小型の甲殻類などを食べます。



ネズツボ科

【見られた地点：②・③・④】

東京湾ではネズミゴチ、トビヌメリ、ハタタテヌメリなど計 10 種が確認されています。砂泥底に生息し、小型のゴカイ類や甲殻類を捕食します。江戸前の天ぶらの種「メゴチ」はネズツボ科の魚類です。



コモチジャコ

【見られた地点：③】

内湾の泥底から砂泥底に生息しています。1950 年代は東京湾内湾に広く分布していましたが、1970 年代以降は湾中央に分布が偏る傾向にあり、貧酸素水塊の影響が関連していると考えられています。



アシシロハゼ

【見られた地点：③】

内湾や河口域の砂泥底に生息し、小型甲殻類やゴカイ類を捕食しています。産卵期は初夏から秋で、1年で 5cm 程に成長します。

